

夏期講習「東京大学総合研究博物館訪問」及び「東京藝術大学大学美術館訪問」

1. 行先と日時：東京大学（令和8年7月22日）・東京藝術大学（令和8年7月24日）
2. ね ら い：夏季休業を利用し、博物館や美術館を訪問し、大学施設を見学することで、
教養を深めると同時に進路について考える契機とする。
3. 行事を通じての所感

申し込みをした3年生から5年生の生徒までが参加をしました。東京大学総合研究博物館では、貴重な展示を見ることができ、普段、学校では教科書や図鑑でしか見ることはできなかったものを、標本で見ることで、理解を深めることができました。また、博物館で研究をしている方から直接説明を聞く機会に恵まれ、生徒たちはとても楽しそうでした。



東京のど真ん中にあるとは思えない広大で緑あふれる敷地と、歴史ある建造物に生徒たちは感動していました。Tマーク！



総合研究博物館の年代測定室では、主に炭素14を用いて年代測定をしていました。研究者の方に、大変貴重なお話を伺うことができ、生徒は熱心に質問していました。（画像は東京大学総合研究博物館放射性炭素年代測定室ホームページより）

東京藝術大学大学美術館では、東京藝術大学の生徒が普段学習している内容の展示や、作品が公開されており、大学での美術教育とその成果を見ることができました。東京藝術大学の学生が作る多様な作品に触れ、美術の面白さやその多様性を受け止める東京藝術大学の懐の深さに気づくことができました。



美術学部と音楽学部の校舎の両方を見学し、総合芸術大学の雰囲気を感じました。

黒田清輝や藤田嗣治といった歴史ある大学の教授や学生の作品から、現代に生きる作家の作品まで、様々な展示を見ることができました。(画像は展覧会公式サイトより)

